

清高通信

9月号

夢を育み、志を実現させる清高教育

～「金剛の意志」の精神のもと、指導者たる人材を育てる～

理科数科一日体験入学

七月二十七日と二十八日に、本校理科数科の中学生一日体験入学が行われました。この二日間における来校者は、総計二二二人（中学生二四八人、教員二人、保護者五十二人）。日程は次のとおりでした。

全体会
理科数科概要説明
SSH概要説明
理科数科説明用DVDの上映
理科数科生徒（三年生）の話

理科実験実習（事前登録した科目について実施）

物理：単振り子の実験
化学：銀をめぐる実験
生物：酵素に関する実験

課題研究発表（五月に実施した発表会の代表研究を1件、生徒が再度発表。）
先輩との懇談会（理科数科一年生が、中学生や保護者の質問に直接答えました。）

本校では毎年、体験入学の恒例行事として、中学生を対象とした理科実験実習を実施しています。入学後に理科の生徒が学習する理科実験の中からテーマを選び、中学生の皆さんに参加してもらい、高校での授業の様子を体験して頂くという企画です。授業では理科数科2年生の生徒達が実験の補助として丁寧なアドバイスをしつつ、楽しい雰囲気の中で約1時間の実験が進められました。参加した中学生達の感想には、

・分かりやすい。こういう理科の授業をいっぱい受けたいです。
・補助についてくれた2年生の先輩方がとても親切でした。
・今までに経験したことのない実験でしたが説明も分かりやすく、とても楽しかった。などの意見が多くみられました。
例年になく厳しい暑さを迎えた中で体験入学でしたが、来校された中学生や保護者の方々は熱心に見学や質問をされ、有意義な一日であったことと思います。ありがとうございました。

清高生による 不思議実験講座

七月二十九日（木）に、清水第一中学校の生徒二十人を対象に中高交流実験講座が行われました。下は中学生の感想の抜粋です。

・中学生では体験できない実験が多くて楽しかったです。
・理科はあまり面白くないと思っていましたが、今日の体験で理科の面白さを知ることができました。中学校の理科も頑張ってください。
・高校生の教え方は熱心で本当によかったです。学校の先生みたいな方がたくさんいました。教え方はそれぞれ違っていましたが分かりやすかったです。



アーチエリー団体出場 インターハイ



八月一日～五日、沖縄県宜野湾市で行われた「美ら島沖縄総体2010」に出場しました。団体戦は予選ラウンドで敗退してしまいましたが、個人戦は中野、六田の両選手が上位で決勝トーナメントに進みました。このインターハイでの貴重な経験を今後活かしたいと思います。
*アーチエリーは高校入学前に全国レベルの実績を持つ生徒が登録し、校外で活動します。

第四十回学習合宿 夢を実現 夏に鍛える!

伝統の夏休み学習合宿が、今年も行われました。二年生の八十三名（理科数科三十六名、普通科四十七名）の生徒が参加し、小山町の富士研修センターで五泊六日の勉強漬けの日々を過ごしました。高原の涼しい空気の中で、多い生徒は一日十二時間以上の学習を行いました。



三年生も 頑張ってます

受験を控えた三年生を対象に、「通いの学習合宿」が夏休み連日開催されました。
八時十分～十二時、十二時四十五分～十八時（九時間）+家庭学習
一日十時間の学習を目指して、一日平均八十人の生徒が教室で勉強しました。
会場は静粛そのもの。一言もしゃべる生徒はいなくて、四階の三年生の教室は図書館のような静けさでした。

一途に願う夢・ひたすら歩む道

オープンキャンパス参加

大 国 大 横 浜 大 名 古 屋 大



八月に行われた名古屋大学オープンキャンパスに六十一名、横浜国立大学オープンキャンパスに五十七名が参加しました。

名古屋大学では、本校卒業の在学生に理・工・法・農の各学部を案内してもらい、また、研究室訪問などを通じて大変有意義な時を持つことができました。

横浜国立大学では、本校卒業生で工学部准教授の松井先生と酒井先生から受験に対する心構えや、大学に入学してからの学習に対する心構え、研究内容等のお話を聞くことができました。また、現在在学中の本校卒業生二名からも大学生活の様子や高校での学習のやり方、大学選びのポイント等有意義な話を聞くことができました。

今後の進路選択の一助となることを期待します。

東京大学・理化学研究所研修



去る八月二日・三日に、恒例の東京大学・理化学研究所研修が、理数科一年生四十名が参加し、一泊二日で行われました。

一日目は東京大学訪問。本校卒業の現役東大生が、本郷キャンパスを案内してくれました。その後、生徒達はグループに分かれ、それぞれ医学部・薬学部・工学部を訪問。講義を聴いたり研究室の見学をおこないました。また、夜には宿泊したホテルに本校卒業の現役東大生を招き、「理数科卒業生と語る会」も開催しました。

二日目は理化学研究所（埼玉県）訪問。仁科加速器研究センターにおいて世界最高のサイクロトロンを見学しました。また、脳科学総合研究センターの見学をはじめ、分光器制作実習もおこないました。その後、生徒達はグループに分かれ、それぞれ研究室を訪問しました。最新の脳科学に関する講義も受講し、生徒達は最先端の研究に触れる貴重な一日を過ごすことができました。

全国高校化学グランプリ2010 清高生、見事入賞

全国高校化学グランプリ2010で、清高生が銅賞を受賞しました。

この大会は国内の高校生および中学生に化学の力試しの場を提供するために、毎年開催されています。また成績優秀者のうち一、二年生の四名は、一年間の指導期間を経て国際化学オリンピックの日本代表として派遣されます。

今年度は七月十九日（海の日）に、全国五十四会場（静岡は静岡大学）で一次選考試験（ペーパーテスト）が行われ、二八七九名が受験しました。

八月二十一、二十二日（土、日）に京都大学で行われた二次選考（実験とレポート）には、全国の一次選考高得点者から順に八十名の生徒が選ばれ参加しました。本校からは三年生の大島辰之輔君が選ばれました。（静岡県では本校のみ）

一次選考と二次選考の合計点で競われた表彰では、大島君が銅賞を受賞しました。

詳細は、全国高校化学グランプリホームページをご覧ください。

地区大会・全国大会に参加

理数科の三年生六名は、平成二十二年七月十七日（土）名古屋で開催されたスーパーサイエンス・ハイスクール（SSH）東海地区フェスタ二〇一〇（中部地区大会）に参加し、昨年実施した課題研究の成果に関する3つのテーマについて発表を行いました。ポスター発表は二題で、横道さん・望月さん発表による「マウスにおける茶と血糖値変化の関係について」、池田君・鳴田君による発表「屈折率分配を持つ溶液に現れる虚像の研究」を行いました。静岡・愛知・岐阜・三重県の四県からのSSH校代表が一堂に集まり、発表・意見交換を行う価値ある交流の場となりました。

また、理数科の三年生四名は、平成二十二年八月三日（火）～四日（水）横浜で開催されたSSH生徒研究発表会（全国大会）に参加し、昨年の課題研究について発表を行いました。この大会には全国百校以上の生徒が参加しました。

本校の井上君、森さん、山梨君、宮本さんが「エッセンシャルオイルのローズ香によるハツカダイコン幼植物の成長促進作用について」ポスター発表を行いました。四名とも実に堂々とした立派な発表でした。文部科学省の鈴木寛副大臣から、発表に対して直接にお褒めのお言葉をいただくなど、貴重な体験をすることができました。



次世代リーダー養成塾参加



県知事と共に（後列右から二番目）

七月二十六日から八月十日までの二週間、福岡と佐賀を会場に、「日本の次世代リーダー養成塾」が開催され、全国から高校生約百八十人が集まりました。本校では、二年生の鈴木勝英君が県の代表として参加しました。

塾長は経団連会長で、元マレーシア首相、元国連事務次長、会社経営者や浪曲師など二十三人が講師となりました。

鈴木君は、日本各地に友達ができた。最高の講義が聴けた。」と感想を述べていました。